



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月3日

上場会社名 株式会社ウイズ
 コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 横井昭裕
 (氏名) 大関浩一
 TEL 03-3534-3180

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	771	△48.2	△307	—	△305	—	△305	—
25年5月期第3四半期	1,488	15.2	△56	—	△54	—	△56	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 △301百万円 (—%) 25年5月期第3四半期 △53百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	△99.20	—
25年5月期第3四半期	△18.29	—

(注) 当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第3四半期	2,217	1,129	50.9	366.58
25年5月期	2,315	1,430	61.8	464.27

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 1,129百万円 25年5月期 1,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	△24.5	△100	—	△100	—	△103	—	△33.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期3Q	3,081,600 株	25年5月期	3,081,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期3Q	— 株	25年5月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期3Q	3,081,600 株	25年5月期3Q	3,081,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策等の成果により、引き続き円安水準を維持し、輸出産業を中心に企業業績は堅調に推移しました。また、消費税増税を前に駆け込み需要を中心に個人消費及び住宅購入が旺盛に推移しました。今後も企業業績の改善による設備投資および個人所得の上昇が期待できる状態にあります。ただ、ここ数年、世界経済のけん引役であった新興国の成長鈍化や今後予定されている消費税増税の影響等を考慮すると不透明な部分も残されております。

このような状況のもと、玩具市場は、個人消費が改善傾向にあり、前年同期に比べて堅調に推移しているものの、一部の人気キャラクター関連商品に人気が集中し、その他は全体的に低調に推移し、厳しい状態にあります。

当社グループは、このような厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減に努め、将来に向けた事業組織の基盤の再構築をおこなっております。

当第3四半期連結累計期間における業績は、一部の主力OEM製品シリーズ等は計画に対し、堅調に推移しましたが、その他、新規を中心とした多くのOEM製品につきましては計画を下回ることとなりました。また、売上予算の多くを占めておりましたオリジナル商品販売等は、第2四半期連結累計期間に引き続き、「ゴミントルわんこ」シリーズ、「富士山パンク3776」シリーズ等の拡販に積極的に努めましたが、低調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、7億71百万円（前年同期比48.2%減）となりました。

利益面においては、営業損失は3億7百万円（前年同期は56百万円の営業損失）、経常損失は3億5百万円（前年同期は54百万円の経常損失）、四半期純損失は3億5百万円（前年同期は56百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ98百万円減少し、22億17百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加2億43百万円があった反面、受取手形及び売掛金が2億96百万円、原材料及び貯蔵品が16百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ2億2百万円増加し、10億87百万円となりました。これは、主に流動負債のその他が61百万円、支払手形及び買掛金が47百万円減少した半面、借入金が増加した3億9百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ3億1百万円減少し、11億29百万円となりました。これは、主に当第3四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少3億5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の連結業績予想につきましては、平成25年12月25日に発表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度においては当期純利益を計上しておりますが、前々連結会計年度まで2期連続して当期純損失を計上するとともに、当第3四半期連結累計期間においても営業損失3億7百万円、経常損失3億5百万円、四半期純損失3億5百万円を計上しております。これらの状況により、当社グループには継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

① 売上高の拡大

OEM製品販売においては、組織の効率化・最適化を図るとともに、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」及び「プリキュア」シリーズ関連製品を中心として、その他の新規商材及び新規顧客についても積極的に受注活動をおこない、売上高の拡大を目指しております。また、オリジナル商品販売においては、当社グループの今後の成長・発展の中心と位置づけ、そのため一層の経営資源の集中をおこない、的確な流行の把握及び販売時期の判断等のもと、売上高の増加に結びつけるべく継続的かつ積極的に取り組んでまいります。

② 固定費の削減

固定費の削減につきましては、引き続き積極的に努めてまいります。

③ 資金繰りへの対応

現在の事業方針から、投資及び出資について多額の支出を伴う資金需要が発生しないため、現状の現金及び現金同等物の残高にて、当面の間の運転資金及び借入金の返済等が十分に賄える予定であります。また、資金調達につきましても、金融機関を中心とした手当により当面問題はないと認識しております。

なお、当社は、金融機関より調達している長期借入金の一部について以下の財務制限条項が付されております。

- ・事業年度末日現在の当社の純資産額が1,237,800千円以下とならないこと
- ・事前承認なしに、当社が第三者（当社の代表者、子会社等を含む。）に対して新たな貸付け出資または保証をおこなわないこと

当第3四半期会計期間末において財務制限条項に関わる長期借入金については、純資産額に関わる条項に抵触する状況にはありますが、毎月定額で返済しており、当事業年度末における当該借入残高は1億円程度に逡減することから、現時点では、問題ないものと認識しております。

以上により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,046,146	1,290,121
受取手形及び売掛金	436,635	139,881
商品及び製品	32,091	37,573
仕掛品	23,534	20,845
原材料及び貯蔵品	61,428	44,715
その他	53,610	32,422
流動資産合計	1,653,447	1,565,559
固定資産		
有形固定資産	43,453	36,059
無形固定資産	2,787	2,065
投資その他の資産		
投資有価証券	518,310	519,229
その他	97,928	94,611
貸倒引当金	△311	—
投資その他の資産合計	615,926	613,841
固定資産合計	662,167	651,965
資産合計	2,315,614	2,217,525
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,989	18,822
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	195,040	328,680
賞与引当金	—	8,926
その他	103,740	42,565
流動負債合計	464,770	498,994
固定負債		
長期未払金	265,526	265,526
長期借入金	91,200	267,075
退職給付引当金	61,887	55,461
その他	1,544	818
固定負債合計	420,158	588,882
負債合計	884,929	1,087,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	294,150	△11,556
株主資本合計	1,436,820	1,131,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350	509
為替換算調整勘定	△6,485	△1,973
その他の包括利益累計額合計	△6,134	△1,464
純資産合計	1,430,685	1,129,648
負債純資産合計	2,315,614	2,217,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	1,488,619	771,089
売上原価	956,272	528,828
売上総利益	532,346	242,261
販売費及び一般管理費	588,755	549,504
営業損失(△)	△56,409	△307,243
営業外収益		
受取利息	236	198
受取配当金	1,135	512
為替差益	8,224	6,476
持分法による投資利益	—	673
その他	219	91
営業外収益合計	9,816	7,952
営業外費用		
支払利息	6,962	6,552
持分法による投資損失	833	—
その他	—	26
営業外費用合計	7,796	6,578
経常損失(△)	△54,389	△305,870
特別損失		
固定資産売却損	77	—
固定資産除却損	129	27
特別損失合計	207	27
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,596	△305,897
法人税等	1,760	△190
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△56,357	△305,706
四半期純損失(△)	△56,357	△305,706

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△56,357	△305,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	489	158
為替換算調整勘定	2,143	4,511
その他の包括利益合計	2,633	4,670
四半期包括利益	△53,724	△301,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,724	△301,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。